

令和6年度「学区防災のありかたを考える」特別委員会
第5回 議事録 2024/10/6

日時 令和6年10月6日(日)18:00～20:00

場所 志津南まちづくりセンター 会議室

出席者(敬称略)

委員長 四方道治	委員 北村昌彦	委員 猪口俊輔
	委員 大脇正美	委員 高田篤司
サポートメンバー 高岡昭義、佐藤恵子		

白瀧 明 委員は、都合により欠席

以下議事内容

1. 自助に対する意識づけのための施策として、10/27 子どもフェスタで危機管理課のご協力のもと防災啓発ブースを設ける件
・危機管理課と打合わせ結果(10/3(危機管理課)小森欣生さん)を踏まえ、以下の内容で進める。

ブースの内容

- 1) ダンボールベッド(実演の有無は検討)
- 2) 非常食等の展示
- 3) 子供向け防災クイズ(内容は思案中)

*当日、選挙が予定されているため、危機管理課からは1名(小森さん)の参加。

*防災特別委員会メンバーが、当日ブースの運営・準備をサポートする。

(大脇さん・北村さんを中心に掛持ちのメンバーが適宜入れ替わる。)

*当日8:30までに現地へ行く(準備開始)

上記3)については、当特別委員会から、前回委員会にて委員長から提案した「自助に対する住民への問いかけ、アンケート(案)」をベースに、子供向けにアレンジしたアンケート(またはクイズ)を用意する。(高岡さん+委員長他のメンバー)

その上で、危機管理課と相談し、最終的な内容を決定する。

また、アンケート(またはクイズ)へ参加の景品(例:非常食)が準備できないか検討する。

2. 「防災視点での志津南学区の特徴」について議論

・委員長からの提案：今までこの特別委員会で議論してきた内容の総括として、防災視点での志津南学区の特徴を整理し、そこから出てくる課題と対応策をまとめたい。(12/13(金)19:00 志津南まちセンで予定の「市長とまちづくりトーク」のテーマとして活用することも念頭に)

・この提案を受けて、「防災視点での志津南学区の特徴」をメンバー間で議論し、以下のようにまとめた。

(南海トラフ・琵琶湖西岸断層による震度6～7の地震を念頭に置いた。内容は今後のブラッシュアップが必要)

「防災視点での志津南学区の特徴」

- ① 名神高速を境に琵琶湖側と山手側の二つの地区に分断

- ・琵琶湖側から山手側へは、避難時の移動として高齢者にはきつい。
- ・避難先が、3か所の広域避難所に分散することが想定される。

山手側(若草、岡本西、追分南の一部)

→ 志津南小学校

琵琶湖側(追分南の大半、かがやき、コージー、追分鴨田)

→ 高穂中学校、玉川中学校

- ・名神高速(追分橋などの跨道橋含む)の被災とその影響の想定がどの程度か？

- ② 地震の際に、在宅避難が多いと想定される
- ・新耐震基準(1981年に法制定)以降の家屋が多い(?)
ただし、これについては追分南町内では必ずしもその限りではないなど、地域によって差があり、正確には検証が必要。また、個別の耐震診断が必要、地盤状況がどうかなど考慮すべきことが多い。
 - ・広域避難所の収容可能人数が、それぞれ数百人程度と少ない。
- ③ 人口構成が二極化
- ・若草地区は高齢化
追分南地区、岡本町西は若い世代が多く子育て盛り、働き盛り中心
(各町における人口構成をできるだけ正確に把握することが必要)
 - ・地震はいつ起こるかわからず、昼間の場合、夜間の場合、地区によって発災時の想定すべきことが異なる。平常時の備えについても地区毎の特性を考慮すべき。
- ④ (未整理)各地区の地盤の状況など自然特性についての特徴

上記①～④ブラッシュアップと課題、対応策を次回までにまとめる。(委員長)(対応策は方向性のみ、現時点はあまり深く突き詰めない(住民の皆さんの防災への意識付けが先決でありそちらをまず考える))

3. 独自マニュアルの整備について(前回議事録より:継続案件)
- 今までの議論に基づき、以下のマニュアルを整備していくことを委員全員で確認した
- ・各町内会レベルのマニュアルのひな型
 - ・避難所開設・運営の独自マニュアル
4. 前線基地である玉川小学校の防災倉庫(耐震機能付き防火水槽含む)の確認実施
危機管理課の対応待ち
5. 県の研修会(地区防災計画策定アドバイザー育成研修会 全4回予定)の参加報告
9月14日に第2回、10月5日に第3回研修会にそれぞれ参加(四方)。
内容・感想をメンバーと共有した。
6. 高田委員より、志津南学区 地震時一時集合場所についての現況整理したものを提示いただいた。(本議事録に添付)
- 地震時の避難行動に直結する重要情報。
調査いただいた時期に、一時集合場所の公園内に草が生い茂っている個所があり、
防災の観点からも公園の環境整備が重要であることを再認識した。

▽次回予定

- ・次回(第6回)委員会 11月3日(日)18:00～ 志津南まちづくりセンター

以上